

# 小規模複式校における1人1台端末を活用した実践

赤井川村立赤井川小学校 学級数6 (校長 姉帯 隆文)

## 実践の概要

本校では令和3年度から算数科の専科加配教員が配置されており、本校と近隣小学校で指導を行っている。校内研修では、算数科を中心に端末の活用の在り方を中核に据え、小規模校の課題を克服する個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業づくりに取り組んでいる。

## 1 実践の目的

学習指導要領では、算数科で育成する資質・能力の一つとして「学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度」が示されている。そこで、自らの学習を調整し粘り強く取り組み続ける姿を目指し、本校及び近隣校でクラウドを活用した学びを進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す。

## 2 実践内容

### (1) 実施計画

次時につながる新しい課題の発見など、主体的な学びにつなげることを目的に、本校及び近隣校の全学年で1人1台端末を活用し、学習の振り返りを中心とした情報のクラウド共有を進める。また、第5・6学年の算数科で、小規模複式校における協働的な学びの可能性を探る授業研究を行う。

### (2) 取組の具体

本校では、1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、毎回の校内研修にミニ研修を位置付け、ICTの効果的な活用についての交流や各職員が講師となった研修を行う。

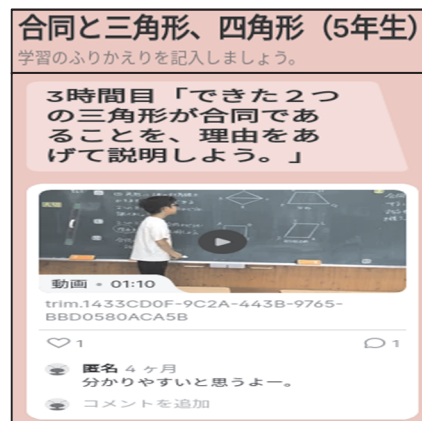
また、本校と近隣校の全学年で1人1台端末を活用したクラウド共有を進め、特に専科加配教員が指導する算数科では、児童が理解を深めたり自分とは違う解決方法に気付いたりすることをねらい、児童の発表を撮影した動画をクラウドで共有する取組を行う。さらに、本校と近隣校の同学年の児童が、算数科の毎時間の「振り返り」をクラウドアプリ「Padlet」で共有することで、自己の学びを振り返るだけでなく、個人や学級内だけでは生まれなかった次時につながる新しい課題の発見につなげる取組を行う。

### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

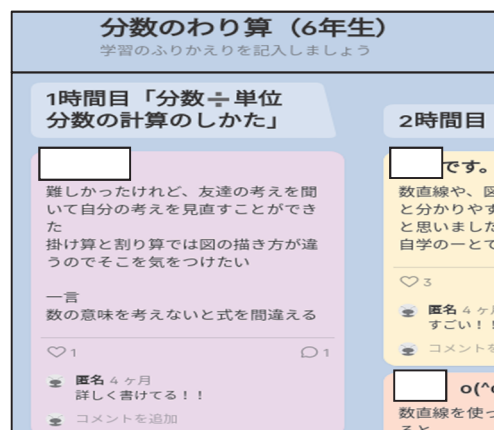
研修において、振り返りが感想の交流に止まっていることが課題としてあげられたことから、単なる感想ではなく学びが深まる「振り返り」となるよう算数の学習用語を用いることを指導するとともに、本時の課題に立ち返り、次につながる課題意識がもてるように改善を図った。

### (4) 改善後の取組

教師が本時の課題を児童に意識するように指示したり、視点を明確にして多様な他者と共有する振り返りの場面を設定したりしたことで、児童が自己の学びを深め、次の学びにつなげる意識が高まった。クラウドで他者と「振り返り」を共有することで多くの気付きが生まれ、一人一人が自己の学びを振り返るとともに次へつなげる課題意識を醸成することができた。また、蓄積された「振り返り」は、児童の思考の深まりを確かめる資料になった。



【クラウドを活用した個人思考の共有】



【クラウドを活用した振り返りの共有】

## 3 実践のポイント

- ・他校の児童の個人思考の様子を動画で視聴するなど、協働的な学びにつなげる
- ・クラウドで他者と「振り返り」を共有すること